



## 医動物・種類同定検査結果（令和6年4月～6月）

▶ 人の健康を害し、人に不快感を与える昆虫類等の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

**主な結果** ▶ 昆虫類以外の節足動物1件（ハイロゴケグモ(クモ目)）でした。

## レジオネラ属菌の検査結果（令和5年度）

▶ レジオネラ症の発生・拡大防止のため、患者利用施設の水や水回りのふきとり検体を採取して、レジオネラ属菌検査を行って感染源を特定しています。

**主な結果** ▶ 令和5年度は、36施設、208検体（水試料96、ふきとり試料112）のレジオネラ属菌検査を行いました。

▶ **LAMP法で遺伝子が検出されたのは12施設、21検体**（水試料9、ふきとり試料12）で、**培養法で菌が検出されたのは4施設、8検体**（水試料5、ふきとり試料3）でした。

## 農産物の残留農薬検査結果（令和6年5月～6月）

▶ 食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、消費者庁は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物に残留する農薬の検査を行っています。

**主な結果** ▶ 市内産農産物の8種類、30検体の検査を行いました。トマト6検体、きゅうり及びみずな各1検体から**延べ10項目の農薬が検出**されましたが、**基準値を超えたものはありません**でした。

## 家庭用品検査結果（令和5年度）

▶ 家庭用品とは、衣料品や洗剤など私たちが日常生活で使用している生活用品のことをいいます。有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律に基づき検査を行っています。

**主な結果** ▶ 市内販売店で、購入等した65検体について、348項目の検査を実施しました。

▶ **住宅用洗剤について、容器試験の落下試験で不適が1件ありました。**

## 公衆浴場水の水質検査結果（令和5年度）

▶ 水系感染症を予防するため温浴施設の利用水には塩素系消毒剤を注入しており、日常の残留塩素濃度管理が重要です。令和5年度は公衆浴場4施設で水質検査を行いました。このうち参考として1施設の水質検査結果を報告します。

**主な結果** ▶ **温泉系統の検査** 浴槽水において、2023年10月は**結合残留塩素が基準値(3mg/L)未満**でした。温泉原水に含まれるアンモニア態窒素と塩素系消毒剤が反応するため、次亜塩素酸ナトリウムの注入量を調節した結果、2024年2月には浴槽水から**結合残留塩素が3mg/L以上検出**されるようになりました。